

中医協総会への報告の結果概要について

平成 25 年 10 月 16 日の中医協総会において、次回改定（平成 26 年度）に向けた DPC 評価分科会からの中間報告が行われ、その内容について了承された。

[総会であげられた主な意見]

【効率性指数における後発医薬品の使用割合による評価の導入について】

- 仮に後発品の使用割合による評価指標を機能評価係数Ⅱに導入する場合であっても、「効率性」という言葉の意味から考えて、現行の効率性指数の中に入れるのは妥当ではないのではないか。

【地域医療指数における在宅医療の評価について】

- 「地域医療指数に在宅医療の評価を加えない」という方針は、DPC 病院が担うべき役割から考えて、妥当なのではないか。
- 在宅医療の評価は、総会で進められている在宅医療に関する議論と整合性をとるべきではないか。

【3 日以内再入院ルールについて】

- 3 日以内の再入院で病名が異なる症例の割合が 50% を超えるのは理解がしがたいことであり、悪用を防ぐための何らかのルールの見直しが必要ではないか。
- 資料に記載されているデータを見ると、医療機関の何らかの操作があるというようにも見えなくもないが、再入院ルールを見直す場合には、患者の状況等、個々の診療内容に立ち入った分析が必要なのではないか。

【激変緩和措置について】

- 医療機関の経営に配慮し、次回の改定でも取り入れるべきではないか。